

ちよつとしい話

～生の願望から死への目覚め～

第一号で、お釈迦様についてお話をしました。今回、お釈迦様が前世に住んでおられた、^{とぞつてん}**兜率天**について説明させていただきます。誕生は、諸々の経典に書かれていますが、浄土三部経典「無量寿経」の中に次のように書かれています。

「遊歩十方行権方便入佛法藏究竟彼岸於無量世界現成等覺処兜率天弘宣正法捨彼天宮降神母胎從右脇生現行七歩光明顯曜普照十方無量佛土六種震動」とあります。

説明をしますと、お釈迦様は、広い世界の中で、その場に応じた説法をしながら歩き、佛法蔵に入って修行をし、理想の世界「極楽」に入ります。それは、時間、空間、数量、力量など、すべて人知を超えた無限の世界であり、まもなく仏になろうとする位置に昇って行きました。兜率天は、将来佛となるべき菩薩が地上に下るまでの最後の生を過ごす場所です。ここで佛法を広めておりましたが、その世界から降臨し、母の体内に入り右脇よりお生まれになり、すぐに七歩あるかれました。その時、光明は四方を照らし、佛土も六種に震動をしました。

※ 六種…大品般若経第一序品に東涌西没、西涌東没、南涌北没、北涌南没、邊涌中没、中涌邊没の六相とするとありますが、この場合は自然も大変喜んだ状況を強調したものです。

※ 等覺…佛が得る真実の悟り。まもなく佛になろうとする位、すなわち五十二段階あるうちの五十一段階目です。

※ 兜率天…サンスクリットの音訳で知足と訳す場合があります。

善入院油掛地藏尊